

2022年(令和4年)
10月24日(月)

河北新報社

〒980-8860
仙台市青葉区五橋1-2-28
www.kaohoku.co.jp

「東」は、未来



総合案内 022(211)1111
読者センター (211)1447

ご購読申し込みは
オオク ミナヨム
0120-09-3746

河北新報

ただいま断捨離中

高野 梶子

私は70代半ばから身辺整理を考え始めましたが、健康がうつので実感が湧かなかった。季節の変わり目には「今年こそ」と思いつつ、なかなか着手できず、現在に至った。

戦前生まれの私は、物資不足を経験しているので、物を処分することができず、またなまってしまった。今は、素を運ぶための機会を今度こそ手に入れたいと、衣類を活用してはいる。翌々日には衣類の回収袋が届いた。趣旨は「資源循環の支援」。回収

キット(3300円)一つ分の寄付で5人の子どもにシリオワクチンを届けることができる。衣類は主にカンボジアに送られるが、防虫・抗菌加工を施して国内で販売され、利益は事業資金に充てられる。

袋が届くと、断捨離意欲が高まり、手近な夏物をまず手配便で送った。でも秋冬物は業者が取り出しが詰め、資源往生の妻子夫婦に詰められた。金はかかるが品質の古着サイクルを活性化してほしい。インダースネットで申し込んぐわ。

信りついで、今も続いている。(仙台市青葉区・主婦・88歳)

